



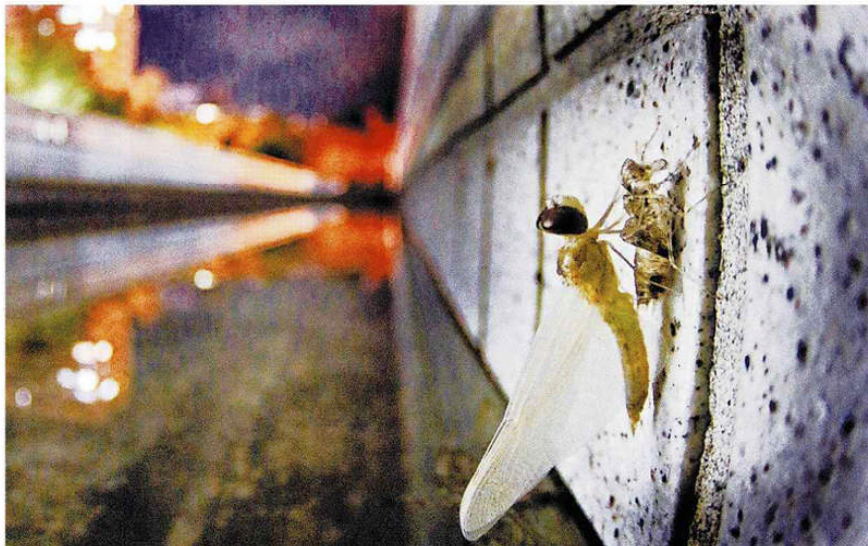
年 組 名前

道新でワークシート

新天地 震える命

ウスバキトンボ

札幌市中央区の大通公園。肌寒さを感じる秋の夜、稼働を終えた噴水に残った水からトンボの幼虫、ヤゴが顔を出し、羽化する場所を探していた。



夜の大通公園でひっそりと羽化するウスバキトンボ。9月下旬、札幌市中央区

体長約4センチ、黄色い胴体と大きな羽が特徴のウスバキトンボだ。卵からわずか1カ月ほどで成虫になる。越冬域の沖縄など南方から繁殖を繰り返して北上、7



月ごろ北海道に飛来し、各地で見られる。水辺に産卵して、8月には道産子のウスバキトンボが羽化する。しかし道内で冬を越すことはできず、10月末には全てが死んでしまうという。それでも北方への飛来を繰り返すのは、「生息域を広げようという、種としての生き残り戦略なのかもしれません」と北海道トンボ研究会の平塚和弘会長は話す。

ヤゴの背中に開いた穴からするりと抜け出すように羽化したウスバキトンボは薄緑色でみずみずしい。小刻みに震えながら体を伸ばし、羽が透明に乾燥すると未明の秋空へ飛び立った。
(写真・文 金田淳)

2018年10月11日夕刊社会面（記事は再編集しています）

①ウスバキトンボの特徴が書かれている一文を文中から書き抜きましょう。

②ぼう線①の「冬を越す」と同じ意味の熟語を文中から書き抜きましょう。

③ぼう線②の「未明」は時間を表す言葉です。では、次の3つの言葉を、時間が早い順に並び替えましょう。

- ア. 朝
- イ. 未明
- ウ. 薄暮
- エ. 日中

